



東京国立博物館

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 Tel:03-3822-1111 Fax:03-3822-2081 (広報室)

プレスリリース

「大日如来坐像」公開

2008年6月10日(火)～7月6日(日)本館11室



大日如来坐像 平安～鎌倉時代・12世紀 東京・真如苑蔵

胸の前で智拳印を結ぶこの像は密教の中心尊像である金剛界大日如来像です。厚みがある堂々とした上半身、頬や顎の肉付きのよい面貌、また、髻や衣の表現などが運慶の作品と共通します。運慶(?～1223)は、鎌倉時代の彫刻様式の根幹を築いた、日本彫刻史上最も重要な作家です。

栃木県足利市の光得寺には、同市の樺崎(かばさき)町にあった樺崎寺に伝来した大日如来像がありますが、やはり運慶の作風が顕著なもので、建久年間(1190～99)末頃の運慶作品と考えられています。光得寺像とこの像は、作風だけではなく細部の技法やX線写真によって確認される像内納入品にもいちじるしい共通性がみられますが、眉や両眼の表現、顎の形などから、この像の方が先行すると考えられます。同市の古刹鑿阿寺(ばんなじ)の文書には、光得寺像にあたる像とともに、樺崎寺下御堂(しものみどう)に建久4年(1193)の願文がある厨子に納められた三尺大日如来像があったことが記されています。北関東に伝わったといわれるこの像は、それにあたる可能性があります。

今後も、鎌倉彫刻や運慶をめぐるさまざまな議論の対象になるであろうこの像を、このたび、御所蔵者の宗教法人 真如苑より東京国立博物館に御寄託いただき、6月10日(火)から公開する運びとなりました。多くの方々にご覧いただければ幸いです。

■作品データ

大日如来坐像 平安～鎌倉時代・12世紀 ヒノキ材割矧ぎ造り 漆箔 玉眼
像高 61.6 cm
東京・真如苑蔵

■像内納入品

運慶の作品には納入品として五輪塔・舍利・心月輪の3つの要素を備えるものが多くみられるが、この大日如来像の納入品はそれらを完備していることが、X線写真で判明している。

中央に五輪塔形の木札（もくさつ）が立ち、胸部に水晶珠と水晶製五輪塔が据えられている。金属製の蓮華と茎が付いた水晶珠は密教にいう心月輪（しんがちりん）で、仏像の魂ともいべきものである。水晶製五輪塔の内部に黒い部分があり、舍利であると思われる。

■次回展示のご案内

2008年7月10日（木）～9月21日（日） 本館12室にて展示いたします

写真貸出しについて

※展示の紹介をしていただける場合

- ・2008年6月9日～11日のお申し込み この期間中の広報用画像貸出しについては、ご所蔵者のご了承済です。当館広報室に直接お申し込みください。
- ・2008年6月12日以降のお申し込み ご所蔵者の書面による許可書を添えて当館広報室にお申し込みください。

※上記以外の目的で写真をご利用いただく場合

- ・東京国立博物館資料館画像利用受付カウンター（TEL 03-3822-1212 FAX 03-3822-1358）にお申し込みください。ご利用は有料です。

開館時間：9:30～17:00。ただし8月15日までの金曜日は20:00、土・日・祝日は18:00（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日。ただし7月21日、8月11日、9月15日は開館、7月22日、9月16日は休館。

観覧料：一般600円（500円）、大学生400円（300円）※（ ）内は20名以上の団体料金。※高校生以下、満70歳以上の方は無料です。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください。※障害者とその介護者1名の入館は無料。入館の際に障害者手帳などをご提示ください。※特別展は別途観覧料が必要です。

交通のご案内：JR上野駅公園口・鶯谷駅南口から徒歩10分／東京メトロ上野駅・根津駅、京成電鉄京成上野駅から徒歩15分

〒100-8712 東京都台東区上野公園13-9

ホームページ：<http://www.tnm.jp/> お問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

◆お問合せ先◆ 東京国立博物館広報室 立道 遠藤 小林
TEL:03-3822-1302 FAX:03-3822-2081 e-mail pr@tnm.jp